

革新的医療技術創出拠点 令和5年度成果報告会

オープンアクセス型拠点を活用した 革新的医療技術の持続的創出

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 プロモーションユニット
臨床研究開発センター 臨床開発推進部門 特任教授 武本 浩



北海道大学拠点のビジョン

目的

- ✓ 基礎-臨床の医療シーズ開発を通した質の高い臨床研究成果創出
- ✓ 新規医療技術の持続的な創出への貢献

目標

- ✓ 先進的医療シーズの発掘・育成
- ✓ 日本発革新的医療シーズの迅速な実用化

重点項目

- ✓ オープンアクセス型の医療シーズ発掘・育成の推進
- ✓ 基礎設備を活用した医療シーズ開発力とその支援体制の強化
- ✓ 臨床研究の質の向上と幅広い研究支援体制の強化
- ✓ 臨床研究に関する広報活動の充実

北海道大学拠点の特徴

北海道大学研究シーズへの積極的な支援：オープンアクセス

研究開発支援体制の拡充

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構

研究開発支援体制の拡充

研究開発基礎設備

- バイオバンク**
- セルプロセッシングセンター**
- カタバネラボ**
- Phase 1 ユニット**

機選し研究プログラムを通したシーズ発掘・評価・育成

研究開発シーズの発掘・評価・育成

きめやかな支援（例：シーズA）

進捗会議

- ✓ シーズの進捗会議を年間3~4回程度開催し、こまめに進捗を確認する
- ✓ 非臨床および製造の専門家を設置し、具体的な進め方を助言する

特許出願

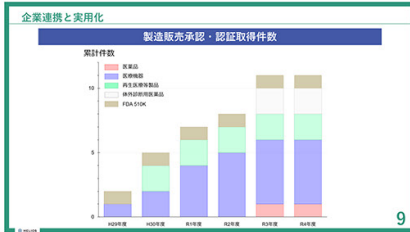
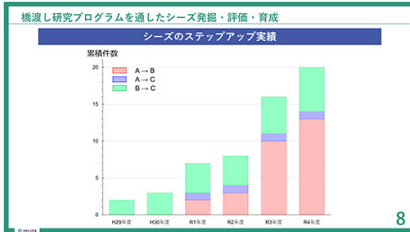
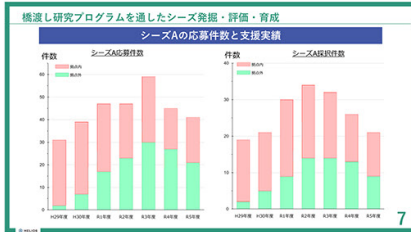
- ✓ 知財アドバイザーを設置し、出願戦略について助言する
- ✓ 支援開始後に改めて先行技術調査を行い適宜フィードバックする

次ステージへの展開

- ✓ スタッフアップ・他事業への導出も含め、次のステージに進むための戦略について提案する

企業連携

- ✓ 国内・海外問わず、共同研究・導出先企業の探索や協議を行い、マッチング機会の設定や交渉等を支援する



企業連携と実用化

企業へのライセンスアウト件数（平成30年度～令和4年度）

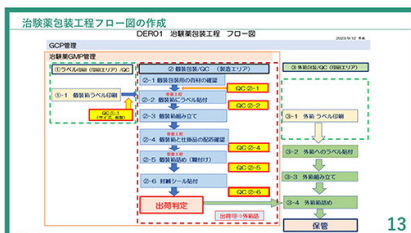
区分	種別	件数	内容
A	特許	4	特許権、ODS特許など
	実用新案	4	特許権、実用新案特許など
	知財権	—	—
	データ	—	—
B	特許	2	特許権、実用新案特許など
	実用新案	2	特許権、実用新案特許など
	知財権	—	—
	データ	—	—
C	特許	2	特許権、実用新案特許など
	実用新案	2	特許権、実用新案特許など
	知財権	—	—
	データ	—	—

クラウドファンディングを活用した第II相臨床試験の実施

クラウドファンディングを活用した第II相臨床試験の実施

北海道大学拠点の支援内容：治療薬GMP体制の構築

治療薬GMP体制の構築



学内で治療薬GMP下でラベリング（包装替え）を実施した成果

学内で治療薬GMP下でラベリング（包装替え）を実施した成果

支援シーズ ポスター発表

発表タイトル	発表者	所属
1. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
2. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
3. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
4. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
5. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
6. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
7. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
8. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
9. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所
10. がん治療薬の製造プロセス最適化に向けた取り組み	武本 浩	北海道大学大学院薬学研究所



革新的医療技術創出拠点 令和5年度成果報告会



p3-Alc β 9-19貼付剤ALC919のパスポートシステムを用いた経皮投与による新規アルツハイマー型認知症治療薬の開発

北海道大学大学院 薬学研究院
認知症先進予防・解析学分野 教授 鈴木 利治

アルツハイマー型認知症(AD)疾患背景と治療実態

疾患の背景	治療の実情	
<ul style="list-style-type: none">国内認知症患者： ✓約700万人 ✓70%がアルツハイマー全世界認知症患者： ✓3200万人超 ✓いずれ9000万人に	<ul style="list-style-type: none">■アセチルコリンエステラーゼ阻害薬：ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン■グルタミン酸受容体拮抗薬：メマンチン ⇒満足度、貢献度が低い■疾患修飾薬：レカネマブ ⇒高価、定期的静脈投与、副作用	

p3-Alc β の同定と p3-Alc β 9-19 の活性

--	--	--

パスポートシステムを用いたALC919経皮投与による臨床での効果の期待

--	--

これまでの成果とロードマップ

--	--	--



HELIOS
北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構
Hokkaido University Hospital Institute of Health Science Innovation for Medical Care

<https://helios.huhp.hokudai.ac.jp/>

